

編集後記

先月号編集後記での門さんのお話の続きになるかもしれませんが、自然科学における「プラズマ」ということばは、私たちプラズマ物理で言うところの「プラズマ」と、生物学で言うところの「プラズマ(原形質)」などがあります。後者に関しては、例えば私の子どもの幼稚園でしばしば流行る「マイコプラズマ肺炎」などにみることがあり、案外ポピュラーな単語といえましょう。「物質の第4の状態」であるプラズマと、バイオの世界のプラズマとでは似ても似つかぬと思われませんが、妙な非線形性やしきい値問題など、意外と似ているところもあります。そういった方向で、「プラズマ生物学」といった考えもつかなかったような分野が今後現れてくる可能性もないとは言えません。これまでプラズマ物理・プラズマ理工学といった領域は、「複合領域」として扱われていた歴史があります。そもそも複合領域、学

際領域と言われている領域は歴史的にそのように言われているだけで、年月が経てば「王道」に化ける可能性もあります(もちろん、「重箱の隅」で終始する場合があります)。最近複合領域がもてはやされている時代ですが、そういう意味でもすでに複合領域として認識されているプラズマ分野のはたらきは重要で、先般の年会でも数々のシンポジウムでこのような動きを感じることができました。同時に、他分野へ積極的に「打って出る」ことも重要であることを改めて実感しました。それがプラズマのコミュニティをさらに豊かにする一助になるはずで

本号が皆様のお手元に届く頃は、会員の皆様におきましては良い新年のお迎えのことと存じます。皆様にとって本年が良い一年になりますよう、お祈り申し上げます。

(重森啓介)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	藤原 正巳 松田慎三郎	常務理事	岡村 昇一(総務委員長)
理 事	秋山 秀典 尾崎 章(財務委員長) 佐野 史道 畑山 明聖 森 雅博(広報委員長)		今井 剛 際本 泰士(広告委員長) 田中 和夫(編集委員長) 浜口 智志(出版委員長) 吉田 善章		奥野 健二(プログラム委員長) 佐藤浩之助(企画委員長) 畠山 力三 本島 修
監 事	長谷川 満		藤山 寛		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫(阪大)
エディター 岡子秀樹(九大), 関 昌弘(RIST), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 行村 建(同志社大)
編集委員 荒巻光利(名大院工), 飯塚 哲(東北大院工), 石黒静児(核融合研), 岩尾 徹(武蔵工大), 岩切宏友(九大応力研), 上田良夫(阪大院工), 越智義浩(原子力機構), 片沼伊佐夫(筑波大プラズマ), 門 信一郎(東大高温プラズマ), 加藤太治(核融合研), 北島純男(東北大院工), 北野勝久(阪大院工), 小口治久(産総研), 佐伯紘一(静大理), 重森啓介(阪大レーザー研), 洲 亘(原子力機構), 妹尾和威(核融合研), 高橋栄一(産総研), 高山有道(核融合研), 谷口和成(京都教育大), 永岡賢一(核融合研), 長崎百伸(京大エネ理研), 野崎智洋(東工大院), 平松美根男(名城大理工), 増崎 貴(核融合研), 山内有二(北大院工), 山本 巧(原子力機構)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第83巻第1号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階
社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

印 刷 株式会社荒川印刷
2007年(平成19年)1月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。